

令和6年（2024年）5月22日（水） 11：00－12：00 災害対策本部室

議題

- （１）令和5年度事業報告について
- （２）令和6年度事業計画（案）について
- （３）市民参加型共創プラットフォームの取組について
- （４）その他

取組方針

スマートシティ構想に掲げた「市民参加型スマートシティ」の実現を目指し、スマートシティ官民研究会及び庁内検討委員会の活動を促進することで、官民共創のスマートシティサービスの創出及びオープンデータの拡充を進め、令和4年度に整備を開始した持続可能な共生社会を支える産官学民共創の基盤「データ連携基盤」及び「市民参加型共創プラットフォーム」の実装を進める。

また、令和6年度当初予算の編成に向けては、政府各省庁が実施しているスマートシティ関連の補助事業等への採択に向けた官民共創によるスマートシティサービスの申請案件の組成を進める。

柱1 市民参加型共創プラットフォーム	1 政策形成に向けた運用 (広聴機能の強化・合意形成)	○ ONE DAY PLAYPARK／令和5年5月 ○ 人権施策推進指針改定／令和5年8月～11月
	2 地域の課題解決に向けた運用（共創）	○ 「出かけたくなる目的」を充実させる、プロジェクトの素案をオンラインとワークショップ等での議論を経て作成。 ○ 「西鎌倉地域プロジェクト会議」にて素案をもとに議論を進め、まちなかに誰でも座れる「椅子」を設置するプロジェクトを展開。
柱2 データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充	1 官民研究会事業化分科会	○ 全6回の会員企業同士のサービス体験やワークショップを通じ、データ連携の課題点やユースケースづくりに向けた議論を実施。
柱3 官民共創のユースケースの創出とスマートシティサービスの実証	1 スマートシティ官民研究会	①全体会、②事業化分科会（データ連携基盤）、③民間主導の補助事業活用支援（2件）、④スマートシティモデル事業（避難所運営のDX）、⑤勉強会（Well-Being）
	2 スマートシティ庁内検討委員会	○ 会議 ○ デジタル田園国家構想交付金（Type1）の申請案件の組成・採択 ①鎌倉文学館資料デジタルアーカイブ化（1,518千円）／②障害者支援アプリ（2,923千円）／③介護保険料・後期高齢者医療保険料キャッシュレス（759千円）／④公園台帳・街路樹台帳GIS（8,429千円）／⑤ウェブ口座振替受付サービス導入（6,121千円）
柱4 戦略的広報・人材育成、調査・研究の推進	1 公式note	○ 市民参加型共創プラットフォーム等（8件）
	2 スマートシティ庁内連続講座	○ 「Fab」、「AI/情報リテラシー」、デジタル市民参画等（4回）
	3 FabCity	○ 「図書館」での体験型ワークショップ・展示
	4 Well-Beingに基づく政策デザイン研修	○ 講座・WS（6回）＋最終報告会の実施

(2) 令和6年度事業計画（案）

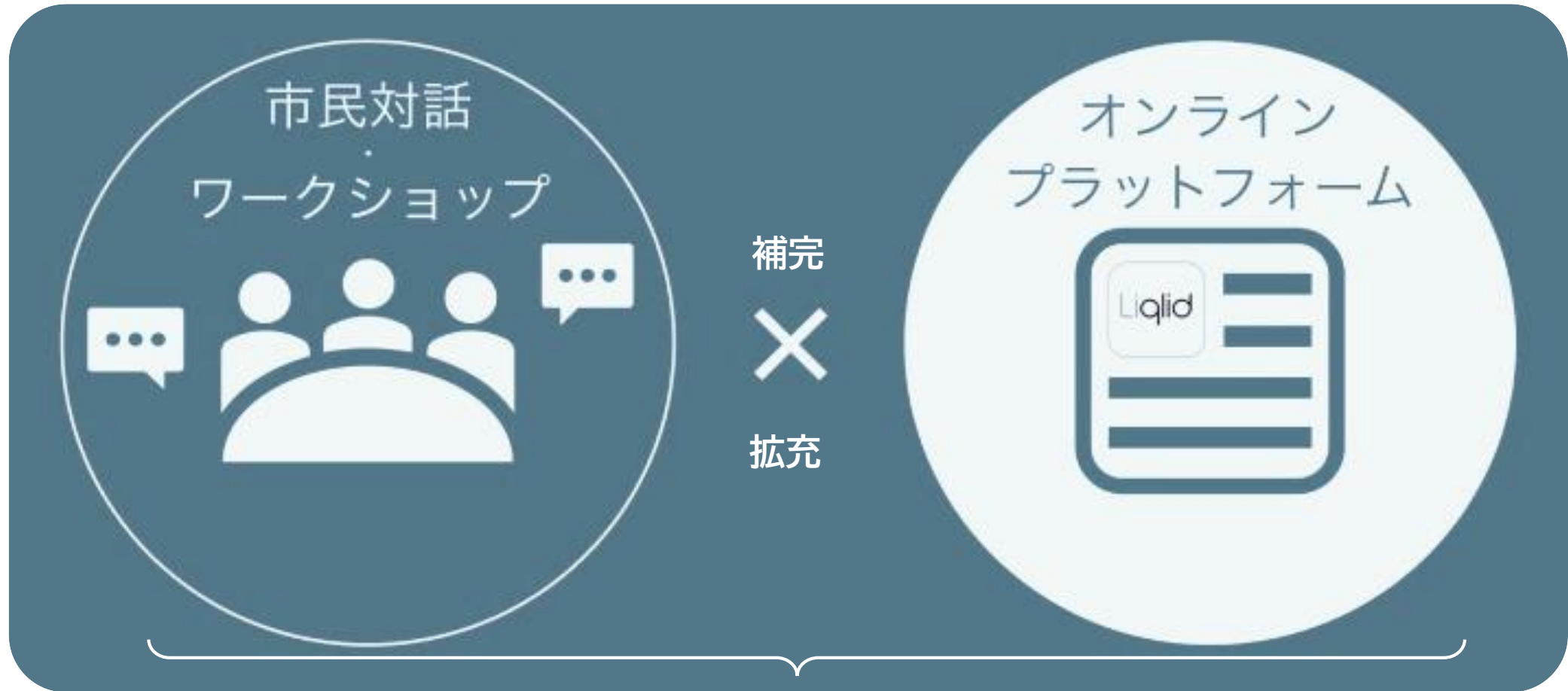
取組方針

スマートシティ構想に掲げる「市民参加型のスマートシティ」の実現に向け、政策形成の様々な場面で市民参加型共創プラットフォームの積極的な利活用を進め、市民参加のすそ野を広げるとともに、スマートシティ官民研究会の活動を活性化させ、市民の利便性とWell-Beingの向上につながるサービスを官民の垣根を越えて創出する。

柱1 市民参加型共創プラットフォーム	1 政策形成に向けた運用 （広聴機能の強化・合意形成）	○ 市民参加型共創プラットフォーム利活用ガイドブックの作成 ○ 利活用案件の全庁募集 ○ 活用予定案件／①新たな総合計画策定、②（仮称）鎌倉市こども計画策定、③新庁舎整備等事業
	2 地域の課題解決に向けた運用（共創）	○ 西鎌倉地域での取り組みの継続
柱2 データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充	1 官民研究会事業化分科会	○ データ連携基盤を利活用した官民のユースケースの創出
	2 庁内オープンデータの拡充	○ 可視化ダッシュボードの導入、職員研修等の実施
柱3 官民共創のユースケースの創出とスマートシティサービスの実証	1 スマートシティ官民研究会	①全体会、②事業化分科会（データ連携基盤）、③民間主導の補助事業活用支援、④スマートシティモデル事業（シェアサイクル）、⑤各種勉強会・WS
	2 スマートシティ庁内検討委員会	○ 会議 ○ デジタル田園国家構想交付金（Type1）等の申請案件の組成
柱4 戦略的広報・人材育成、調査・研究の推進	1 公式note	○ 市民の利便性向上につながるデータやテクノロジーの活用事例等
	2 スマートシティ庁内連続講座	○ データの利活用、Well-Being等
	3 FabCity	○ 展覧会・シンポジウム等の実施

(3) 市民参加型共創プラットフォームの取組について

目的：情報を公開し、政策形成過程に市民が参画する新たな仕組みをつくる



市民参加型共創プラットフォーム＝政策形成過程に幅広い市民の参画を可能とする仕組み

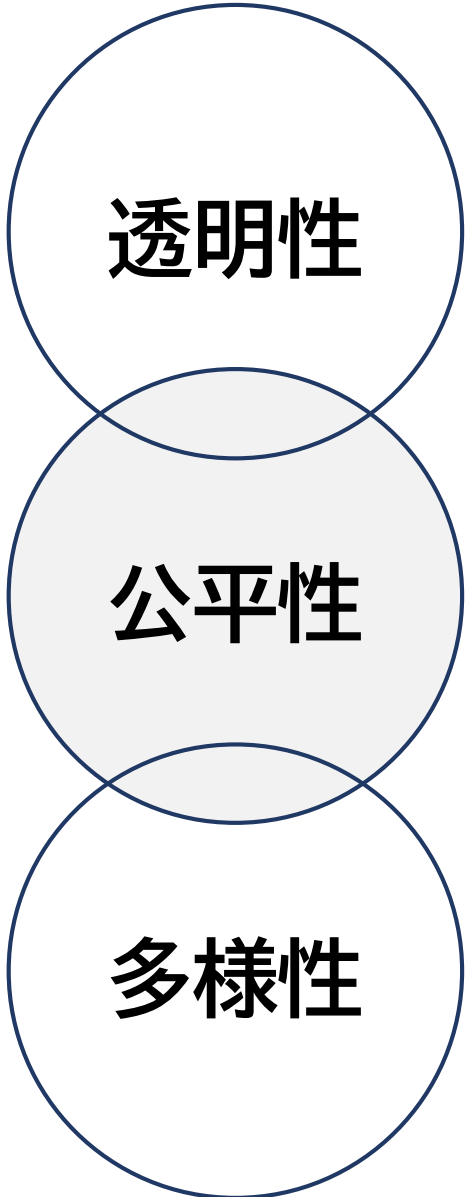


《メリット》

- ・ 議論に臨場感があり、活発に進む
- ・ 議論の密度が濃い
- ・ オフラインで顔の見える関係性が築ける

《デメリット》

- ・ 時間、場所、参加者層に制約や偏りが出てしまう
- ・ 主張の強弱が出やすい（声が大きい人がいる）
- ・ 議論の経過が参加者以外に見えにくい



透明性

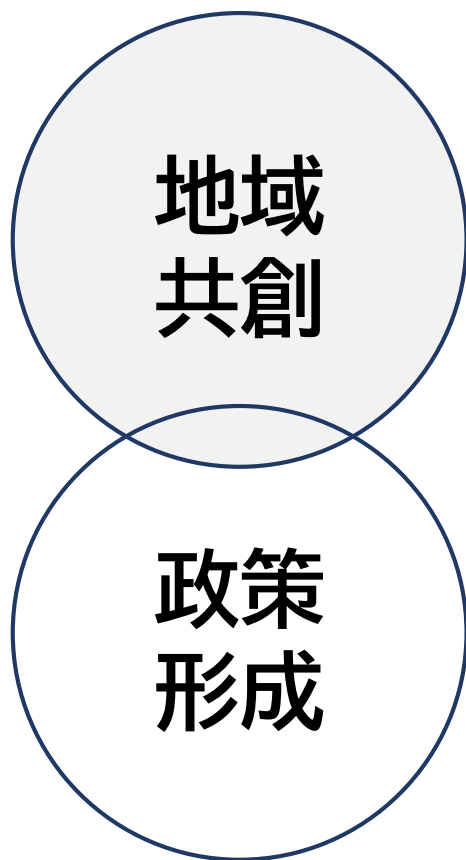
- 議論の経過に加え、取組の**プロセス自体も可視化**
政策形成過程の透明性を向上

公平性

- テキストなので、**主張の強弱**が出にくい
匿名投稿でサイレントマジョリティの意見もフラットに可視化

多様性

- オンラインなので、**時間、場所、参加者層**の制約なし
市民や観光客、年齢層、職種、家族構成などにとらわれない



- 地域の課題解決に向けた運用（共創）

地域の課題を可視化し、みんな（産官学民）で解決していく

活用例：西鎌倉地域での取組

- 政策形成に向けた運用（広聴機能の強化・合意形成）

市の計画や指針等の策定に向けて、
パブリックコメントの前段階での幅広い意見やアイデアを集める

活用例：人権施策推進指針の改定（R5）
新たな総合計画策定（R6.4～）
（仮称）鎌倉市こども計画策定（R6. 予定）
新庁舎整備等事業（R6. 予定）

9

付箋形式

テーマに沿って
みんなで
オンラインブレスト

投稿されたアイデアの「単語」の出現頻度を文字サイズの大小で表現したチャート



議論の発散



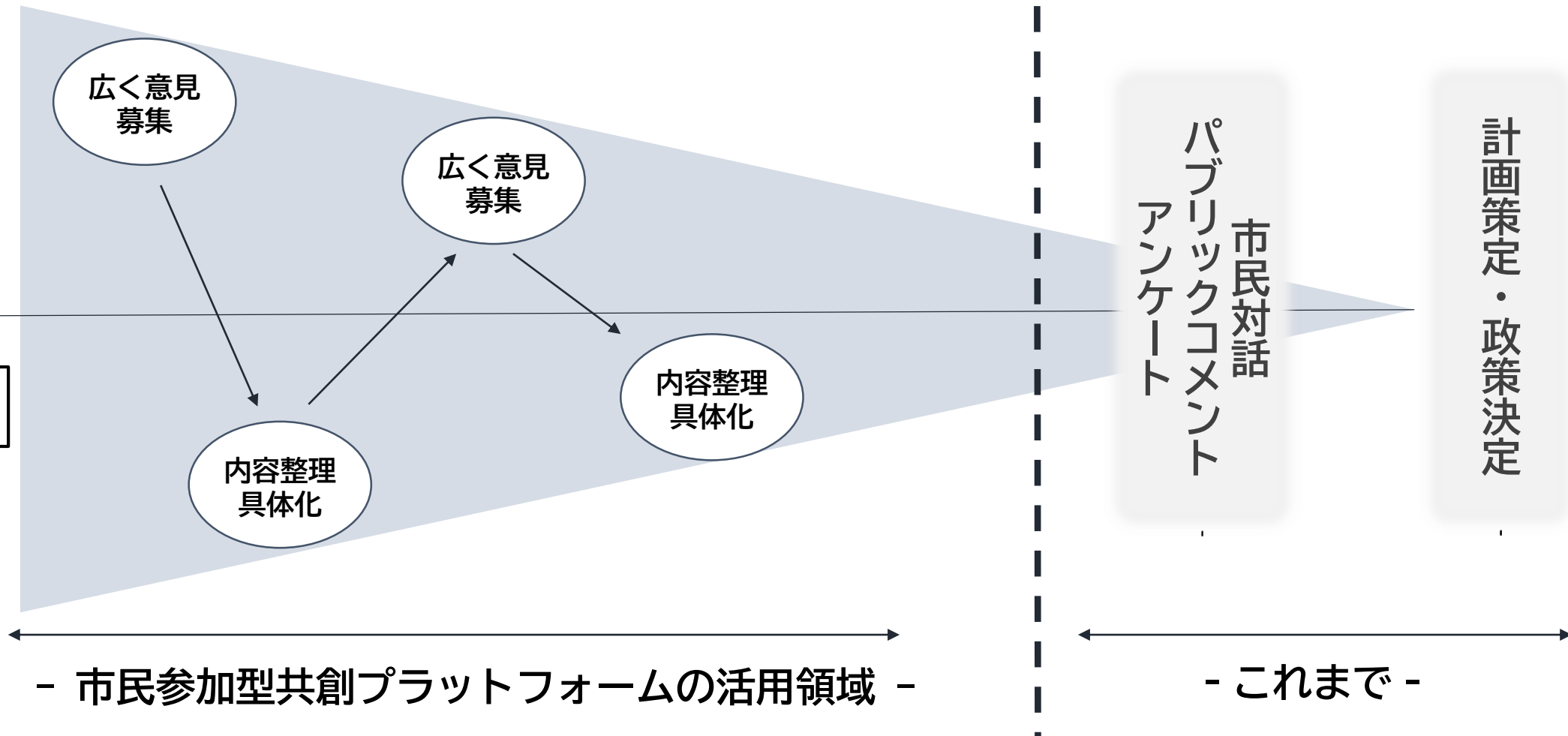
オンライン
プラットフォーム
Liqlid

議論の収束



ワークショップ
市民対話
各種委員会等

検討の初期段階から市民を巻き込むことで、
市民参加のすそ野を広げ、**納得感のある政策形成**につなげる

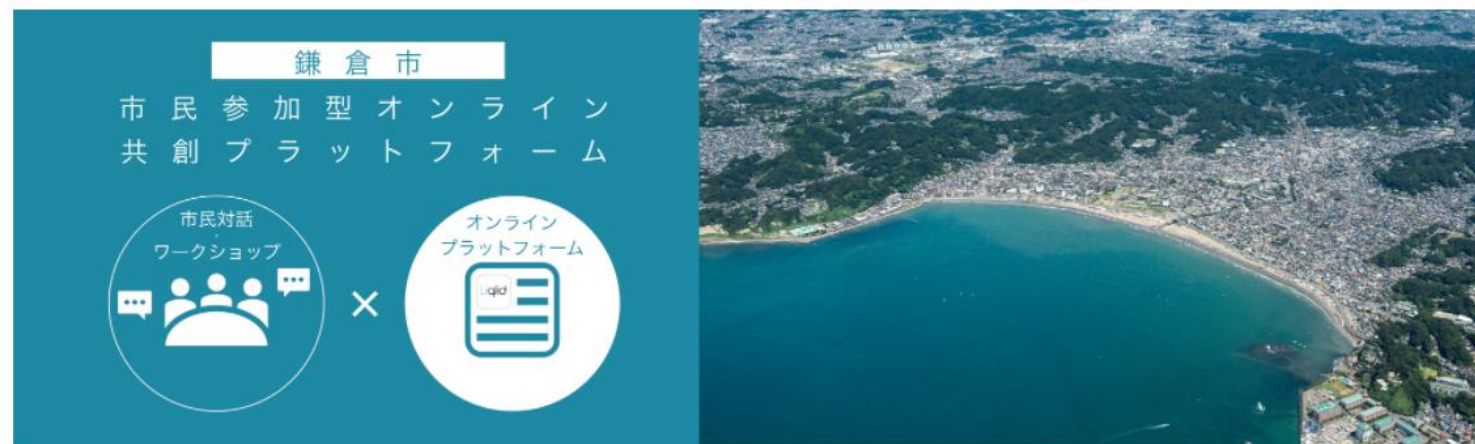


○ 政策形成に向けた運用①／人権施策推進指針の改訂

12

ホーム

更新日時2023/7/4 15:29:14



アイデア募集中の取組



人権施策推進指針の改訂

鎌倉の人権施策を進める際の基軸となる「かまくら人権施策推進指針」を2024年に改訂します。



地域の共創（西鎌倉地域）

西鎌倉地域内の移動について、出かけたくなる目的の充実の観点から、具体的なプロジェクトの検討を進めていきます。

会社で育休者が出ました。それ自体は良いのですが、人員補充なしで仕事量が倍になりました。育休と人員補充はセットで考えるべきだと思います。そうすれば育休取得の促進にもつながると思いま

08/13

匿名

いいね

同性のパートナーがいる友人が「もし相手が病院へ救急搬送されても、自分は病室に入ることかできない」と悲しんでいた。結婚が認められないことで、愛を認められないだけでなく、必要な時に一緒

08/09

匿名

いいね

SNSやWEBサイト等、直接顔が見えないツールで、主に芸能人やYouTuberが一方的に誹謗中傷を受けているのを何度も見ました。

08/04

匿名

いいね

現行版の目次

分野	
1	女性の人権
2	子どもの人権
3	高齢者の人権
4	障害者の人権
5	外国人の人権
6	災害発生時の人権
7	同和問題
8	さまざまな人権
	(1) 患者の人権
	(2) 性的少数者の人権
	(3) 犯罪被害者等の人権
	(4) 拉致被害者等の人権
	(5) インターネット等による人権侵害
	(6) ホームレス問題
	(7) その他

オンラインプラットフォーム
に投稿された意見・アイデア

人権施策推進委員会での議論

関係課とのヒアリング

人権男女共同参画施策
推進連絡会での議論

事務局での検討

第3次改訂版の目次（案）

分野	
New 1	すべての人の人権
New 2	暴力の根絶と人権
New 3	ジェンダーと人権
4	子どもの人権
5	高齢者の人権
6	障害者の人権
7	外国につながりがある人の人権
New 8	多様な性の尊重
9	災害発生時の人権
10	同和問題
11	生活困窮者等の人権
12	さまざまな人権
	(1) 疾病等に関する人権
	(2) 犯罪被害者等の人権
	(3) 拉致被害者等の人権
	(4) インターネット等による人権侵害
	(5) その他

オンラインプラットフォーム に投稿された意見・アイデア

- 歴史や宗教などの違いから、不当な扱いの定義が定めることが難しいからではないか
- 他の人を思う心が強ければ差別や偏見はなくなるのでは
- 育児休暇所得は問題ないが、職場の業務量増加に対する配慮も必要ではないか
- 観光客に対して、神社に入ることを制止するといった差別
- 観光地で障害者手帳を見せて入場する際に記載を求められるノートが、前に記入した人の情報が見られる状態であった
- 市政情報を取得することが難しく、一部の市民の声だけで市政が決定されているように感じる
- 少子化に対する政策だけでなく、独身など様々な立場の人の声を汲み取る必要がある

人権施策推進委員会での議論

- 分野や属性を問わないあらゆる人に対する人権を守るため、意識の啓発、体制整備に取り組む必要がある
- 誰でも相談できる体制の包括的な支援の整備が必要である
- 困っている当事者に情報が届くよう、相談機関の情報の分かりやすい提供
- ライフステージに応じたつながりのある支援
- 相談・支援機関の連携

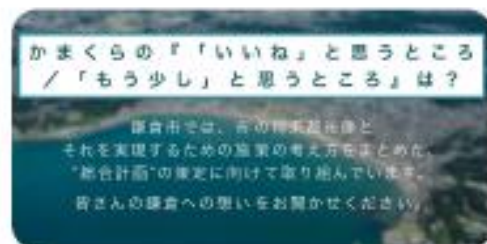
新たな分野設定

すべての人の人権

市民参加型共創プラットフォーム



現在進行中の取り組み



①かまぐらの『「いいね」と…
アイデア
スペース「わたしたちが描くみらいの鎌倉」



②かまぐらの「キャッチフレ…
アイデア
スペース「わたしたちが描くみらいの鎌倉」



西鎌倉地域プロジェクト「ま…
アイデア
スペース「地域の共創(西鎌倉地域)」

「もう少し」と思うところ



流行語オーバーツーリズムに踊らされ、観光で鎌倉に来てくれる人へのおもてなしの気持ちが崩れかけている。移民排斥を想起させて不快。「観光客はダメ」とレッテルを貼るのではなく、観光で来る人々にマナーやルールを理解してもらうための（主に外国語での）丁寧なコミュニケーションに改善余地大

M Matsubara-Hiro • 5/6



...

「いいね」と思うところ

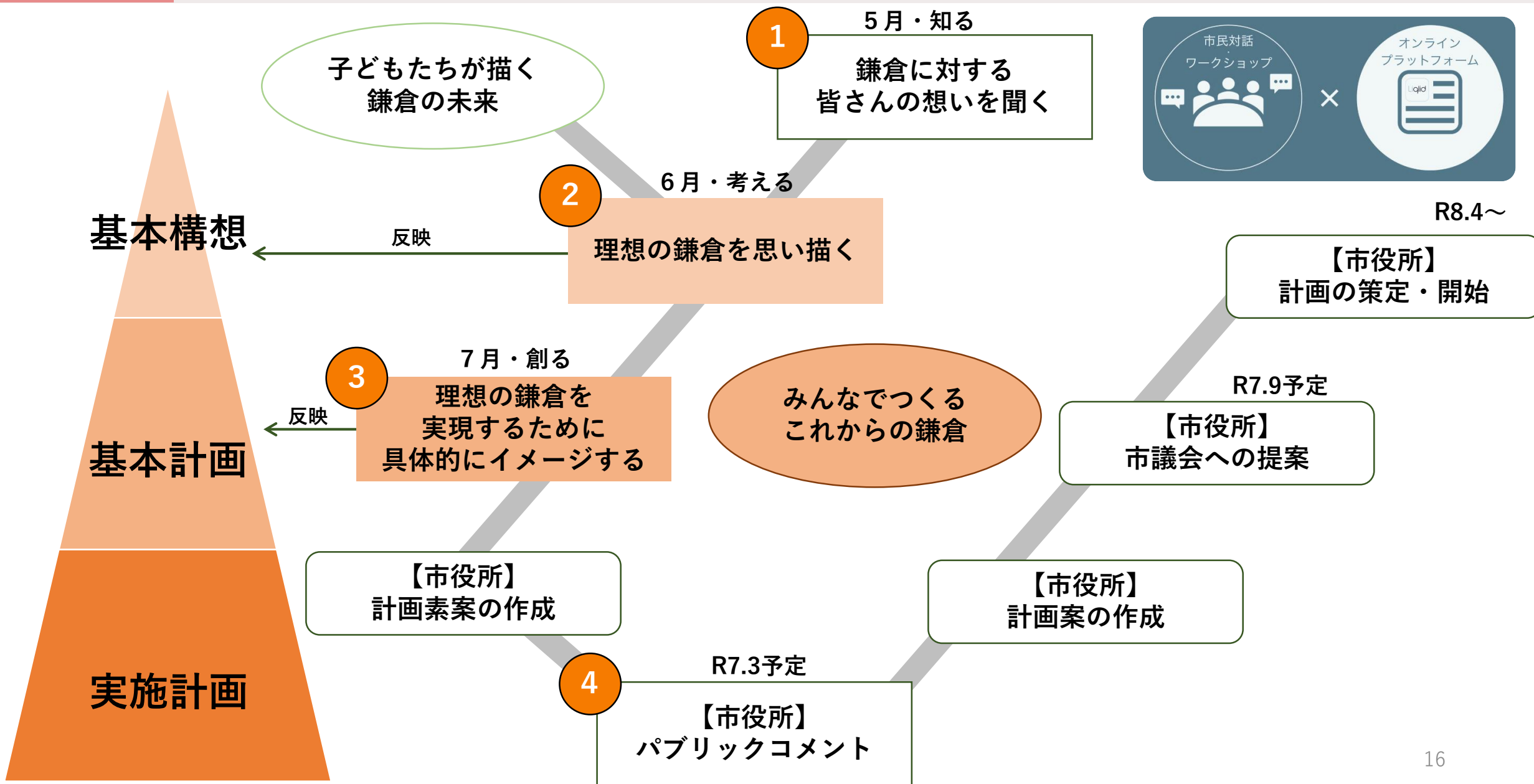


お祭りや市民運動会などによって、地域住民との交流があるところ。高齢化が他の自治体に比べ急速に進んでいるが、高齢者に寄り添ったサービス、支援が充実している。

ぎ ぎゃお • 5/4



...

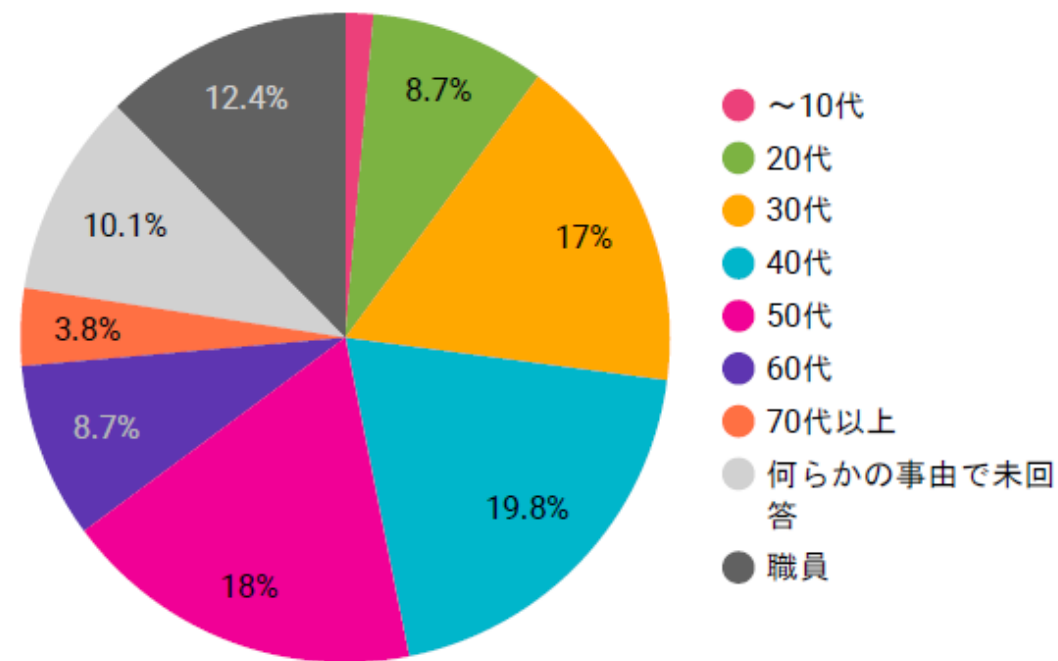




○ オンラインで既に集まった意見を
○ ベースに議論を展開

○ ワードクラウドを活用して
○ 他のグループの意見もその場で可視化
○ 会場全体の議論の流れを共有

	年齢	合計
1.	～10代	8
2.	20代	50
3.	30代	97
4.	40代	113
5.	50代	103
6.	60代	50
7.	70代以上	22
8.	何らかの事由で未回答	58
9.	職員	71



アカウント登録者**572**名のうち、30代～50代が、全体の約**55**%を占める

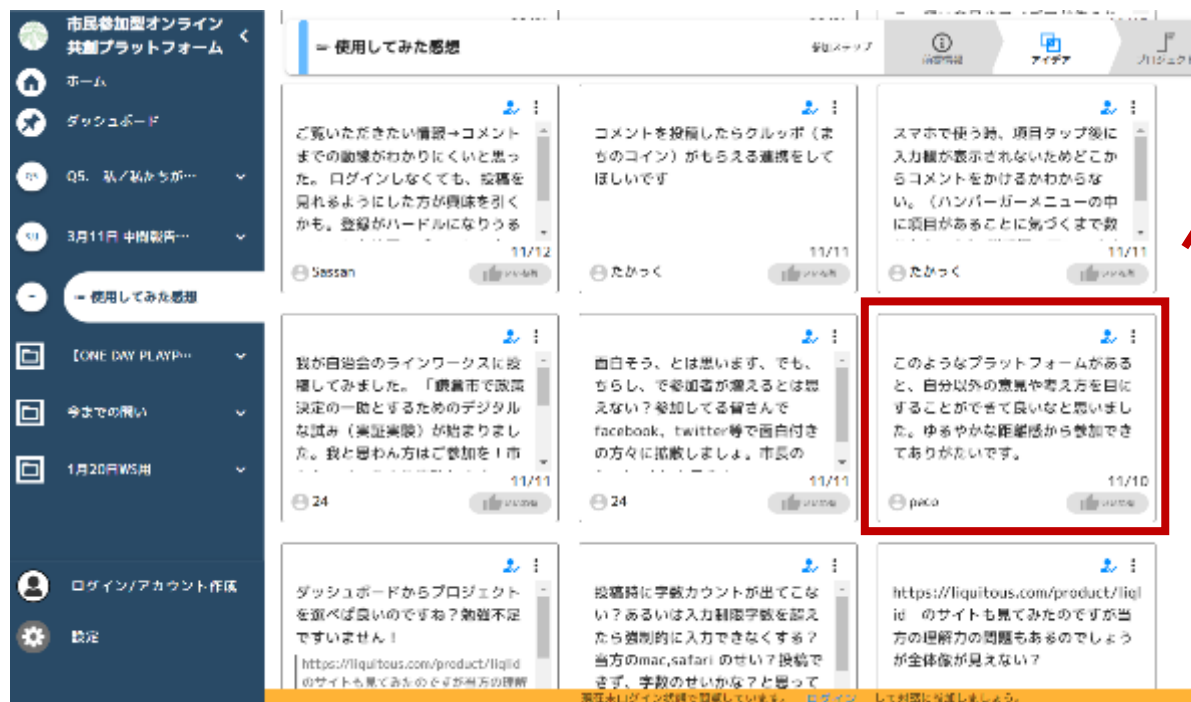
The screenshot shows a web application interface with a sidebar on the left and a main content area. The sidebar contains navigation links: "5/27 ONE DAY ...", "Q5. 私/私たちが...", "3月 3月11日 中間報告...", "⇒ 使用してみた感想", "前提情報", "アイデア", "プロジェクト", "今までの問い", "1月20日WS用", "ログイン/アカウント作成", and "設定". The main content area displays a grid of messages. A red box highlights a message from user "24" dated 11/15, which reads: "これまでの経緯があるのは親切ですが、これからの予定も勇気を出して発信してください。予定や願いは途中で変更しても大丈夫！良い方向に変わっていくならば。". A red arrow points from this highlighted message to a larger callout box on the right.

これまでの経緯があるのは親切ですが、これからの予定も勇気を出して発信してください。予定や願いは途中で変更しても大丈夫！良い方向に変わっていくならば。

24

11/15

いいね有



このようなプラットフォームがあると、自分以外の意見や考え方を目にすることができて良いなと思いました。ゆるやかな距離感から参加できてありがたいです。

11/10

peco

いいね有

現在、これまでの市民参加型共創プラットフォームの取組で得られた知見を「市民参加型共創プラットフォーム利活用ガイドブック」として取りまとめ予定。全庁での利活用案件の照会とあわせ、様々な場面で市民が政策形成過程に参画できる新たなツールとしての浸透を目指す。

